



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 関西ペイント株式会社
 コード番号 4613 URL <http://www.kansai.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石野 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 浅妻 慎司 TEL 06-6203-5531

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	89,416	11.1	8,772	3.2	10,893	15.6	5,888	16.2
29年3月期第1四半期	80,463	6.1	8,502	11.2	9,424	5.0	5,068	6.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,004百万円 (%) 29年3月期第1四半期 7,067百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.88	19.85
29年3月期第1四半期	19.19	16.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	538,946	293,621	46.7
29年3月期	540,458	296,165	46.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 251,954百万円 29年3月期 253,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		11.00		11.00	22.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		13.50		13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	17.1	19,500	9.3	22,500	19.4	14,000	22.4	54.40
通期	405,000	22.6	43,000	21.8	49,000	22.4	30,000	24.1	116.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	272,623,270 株	29年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	15,289,380 株	29年3月期	15,286,492 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	257,334,970 株	29年3月期1Q	264,101,494 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、米国の経済政策の動向、欧州における不確実性、中国を始めアジア新興国経済の先行き不安、地政学的リスクの影響などが懸念されましたが、緩やかに回復しました。わが国経済は、公共投資は底堅さが増し、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は894億16百万円（前年同期比11.1%増）となりましたが、営業利益は原材料価格の高騰や販売費及び一般管理費が増加したことにより海外セグメントの利益が減少したことから87億72百万円（前年同期比3.2%増）となりました。一方、為替差損が減少したことや、退職給付制度改定益を計上したことにより、経常利益は108億93百万円（前年同期比15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億88百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は伸長しました。工業分野、船舶分野及び防食分野においては市況に回復の動きが見られ、売上は前年を上回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販継続に努め、売上は前年並みを維持しました。建築分野においては、市況の本格的回復にはいたらず、売上は前年を下回りました。当セグメント全体の売上は前年を上回りました。また、各種コストダウン施策によるトータルコスト低減にも努め、利益は大きく増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は378億85百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益は61億38百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

《インド》

引き続き経済が伸長するなか、自動車分野では自動車生産台数の増加が続き、売上は大きく伸長しました。建築分野においても、需要拡大が継続し、売上は大きく伸長し、当セグメント全体では売上及び利益ともに前年を大きく上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は232億52百万円（前年同期比18.7%増）、経常利益は36億33百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産は堅調に推移し、自動車分野での売上は前年並みを維持しました。また、工業分野の売上は伸長し、中国全体での売上は前年を上回りましたが、前年度において持分法投資利益として計上していた補助金がなくなったことなどにより、利益は前年を下回りました。インドネシアにおいては、景気に持ち直しの動きが見られ、自動車分野及び建築分野において売上は伸長し、前年を上回りました。タイにおいては、輸出向けの需要の低迷に伴い自動車生産台数が減少し、業績は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は153億73百万円（前年同期比9.4%増）、経常利益は15億66百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努め、現地通貨ベースでは売上は前年並みを維持しました。しかしながら、通貨安による原材料価格の高騰及び価格競争の激化、また一過性費用の発生が収益を大きく圧迫し、利益は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は70億96百万円（前年同期比12.5%増）、経常損益は為替換算の影響もあり、のれんの償却を含め経常損失11億73百万円（前年同期比 - %）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車生産の増加及び販売活動促進の取組により、現地通貨ベースでは売上は大きく増加し、各種コスト低減にも努めました結果、利益も大きく増加しました。しかしながら、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、トルコのPolisan Kansai Boya Sanayi Ve Ticaret A.S.の業績を、のれんの償却を含め持分法投資利益に計上しております。これらの結果、当セグメントの売上高は44億9百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は4億13百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

《その他》

北米では自動車生産は堅調に推移し、競争の激化等の影響もありましたが、持分法投資利益は増加しました。このほか、2016年8月に連結子会社化した、米国のU.S. Paint Corporationの業績が寄与し、セグメント全体の業績は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は13億99百万円（前年同期比341.8%増）、経常利益は3億15百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、5,389億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ、15億11百万円の減少となりました。これは、主に現金及び預金、商品及び製品の減少、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、2,453億25百万円となり、前連結会計年度末と比べ、10億32百万円の増加となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,936億21百万円となり、前連結会計年度末と比べ、25億43百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2017年5月12日発表の2018年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,027	49,787
受取手形及び売掛金	103,199	106,925
有価証券	9,181	8,461
商品及び製品	33,610	31,452
仕掛品	4,252	4,842
原材料及び貯蔵品	21,274	20,130
その他	12,644	14,293
貸倒引当金	△3,237	△3,334
流動資産合計	233,953	232,558
固定資産		
有形固定資産	110,564	112,377
無形固定資産		
のれん	44,215	43,478
その他	24,010	22,904
無形固定資産合計	68,226	66,383
投資その他の資産		
投資有価証券	95,830	95,019
その他	33,012	33,896
貸倒引当金	△1,129	△1,287
投資その他の資産合計	127,713	127,627
固定資産合計	306,505	306,388
資産合計	540,458	538,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,382	60,748
短期借入金	8,520	9,474
未払法人税等	4,374	4,370
賞与引当金	4,770	3,017
その他	22,426	24,958
流動負債合計	99,472	102,569
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	101,587	101,424
退職給付に係る負債	9,632	8,097
その他	33,600	33,234
固定負債合計	144,820	142,756
負債合計	244,293	245,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	14,421	14,421
利益剰余金	218,880	221,928
自己株式	△25,088	△25,091
株主資本合計	233,872	236,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,229	31,585
為替換算調整勘定	△12,548	△17,225
退職給付に係る調整累計額	794	677
その他の包括利益累計額合計	19,475	15,037
非支配株主持分	42,817	41,666
純資産合計	296,165	293,621
負債純資産合計	540,458	538,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	80,463	89,416
売上原価	53,860	60,185
売上総利益	26,603	29,231
販売費及び一般管理費	18,100	20,458
営業利益	8,502	8,772
営業外収益		
受取利息	102	360
受取配当金	720	753
持分法による投資利益	1,299	1,067
雑収入	446	458
営業外収益合計	2,568	2,640
営業外費用		
支払利息	196	285
社債利息	21	-
たな卸資産廃棄損	37	29
為替差損	1,178	75
雑支出	213	129
営業外費用合計	1,646	520
経常利益	9,424	10,893
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	312	38
退職給付制度改定益	-	760
特別利益合計	314	800
特別損失		
固定資産除売却損	27	40
投資有価証券評価損	177	0
特別損失合計	204	41
税金等調整前四半期純利益	9,534	11,652
法人税等	3,458	4,654
四半期純利益	6,076	6,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,007	1,109
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,068	5,888

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	6,076	6,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,699	334
為替換算調整勘定	△7,921	△3,679
退職給付に係る調整額	△64	△117
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,457	△1,530
その他の包括利益合計	△13,143	△4,993
四半期包括利益	△7,067	2,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,958	1,450
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,108	554

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(退職給付制度間の一部移行について)

当社は、2017年4月1日に確定給付企業年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

これに伴い、当第1四半期連結累計期間の特別利益として760百万円計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	35,793	19,587	14,057	6,308	4,400	80,147	316	80,463	-	80,463
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	3,533	-	1,145	28	18	4,725	-	4,725	△4,725	-
計	39,326	19,587	15,202	6,336	4,419	84,873	316	85,189	△4,725	80,463
セグメント利益または損失 (△)	4,515	2,910	2,136	△651	268	9,178	246	9,424	-	9,424

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等

欧州……トルコ等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	37,885	23,252	15,373	7,096	4,409	88,017	1,399	89,416	-	89,416
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	4,075	6	900	45	7	5,035	-	5,035	△5,035	-
計	41,960	23,259	16,273	7,142	4,417	93,052	1,399	94,451	△5,035	89,416
セグメント利益または損失 (△)	6,138	3,633	1,566	△1,173	413	10,578	315	10,893	-	10,893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、ネパール等
 アジア……タイ、中国、インドネシア等
 アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が増したため、「その他」の区分に含まれていた「欧州」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2017年8月3日付で、当社の連結子会社であるKansai Plascon Africa Limitedが、その100%子会社であるKansai Plascon East Africa Proprietary Limitedを通じ、東アフリカ地域において塗料事業を展開する企業体であるSadolin Group各社(以下、Sadolin Group)の株式を以下のとおり取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

後述の「6. 被取得企業の概要」をご参照ください。

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、現在推進中の中期経営計画において、グローバル化の加速を重点施策として掲げ、既存市場での事業拡大・強化に加え、新規市場・分野への参入を積極的に進めることとしております。

とりわけアフリカは人口増加に加え、経済成長に伴う一人当たり塗料使用量の増加などにより、中長期的に塗料需要の拡大が最も期待される市場であり、その中でも東アフリカは、成長性が高く規模拡大の期待が大きい重要な地域と位置づけております。

Sadolin Groupは、東アフリカ共同体の塗料市場においてトップシェアを有する優良な企業体であり、本株式取得は当社グループの東アフリカ市場での事業基盤をより強固なものにするとともに、アフリカ全体での更なる事業拡大・発展、ひいては当社グループの中長期的な業績拡大に大きく寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

2017年8月3日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

後述の「6. 被取得企業の概要」をご参照ください。

- (6) 取得した議決権比率
後述の「6. 被取得企業の概要」をご参照ください。
- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠
Kansai Plascon East Africa Proprietary Limitedによる現金を対価とする株式取得であります。
2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳
後述の「6. 被取得企業の概要」をご参照ください。
3. 主要な取得関連費用の内容及び金額
現時点では確定しておりません。
4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。
5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。

6. 被取得企業の概要

(1) Shalvik Investments Limited

名称	Shalvik Investments Limited	
結合後企業の名称	Shalvik Investments Limited	
事業の内容	Sadolin Paints (Uganda) Limited及びSadolin Paints (Tanzania) Limitedの株式の、それぞれ85%、80%を保有する持株会社	
議決権	企業結合直前に所有していた議決権比率	0%
	企業結合日に取得する議決権比率	100.0%
	取得後の議決権比率	100.0%
被取得企業の取得の対価	現金	92百万USD
被取得企業の取得原価		92百万USD

(2) Sadolin Paints (Uganda) Limited

名称	Sadolin Paints (Uganda) Limited	
結合後企業の名称	Kansai Plascon Uganda Limited	
事業の内容	建築用、工業用塗料などの製造・販売	
議決権	企業結合直前に所有していた議決権比率	0%
	企業結合日に取得する議決権比率	92.5%
	取得後の議決権比率	92.5%
被取得企業の取得の対価	現金	6百万USD
被取得企業の取得原価		6百万USD

(3) Sadolin Paints (Tanzania) Limited

名称	Sadolin Paints (Tanzania) Limited	
結合後企業の名称	Kansai Plascon Tanzania Limited	
事業の内容	建築用、工業用塗料などの製造・販売	
議決権	企業結合直前に所有していた議決権比率	0%
	企業結合日に取得する議決権比率	90.0%
	取得後の議決権比率	90.0%
被取得企業の取得の対価	現金	2百万USD
被取得企業の取得原価		2百万USD

(4) Sadolin Paints (E.A.) Limited

名称	Sadolin Paints (E.A.) Limited	
結合後企業の名称	Kansai Plascon Kenya Limited	
事業の内容	建築用、工業用塗料などの製造・販売	
議決権	企業結合直前に所有していた議決権比率	0%
	企業結合日に取得する議決権比率	85.0%
	取得後の議決権比率	85.0%
被取得企業の取得の対価	現金	22百万USD
被取得企業の取得原価		22百万USD